



実社会

キャリア教育(インターンシップや問題解決型授業等)による
教育効果の評価が体系化されていないなか、大学・学生・企業の

流動化・複雑化していくこれからの国際化時代、人はどう成長していくべきなのかを社会全体で議論する機運を盛り上げていくための、一つの指標になることを目指しています。

社会人キャリア力育成 4つの能力／16の領域



社会人キャリア

出題例

■社会人基礎力の問題例

◆規律性

「集団行動」についてあなたはどの様な態度をとりますか。

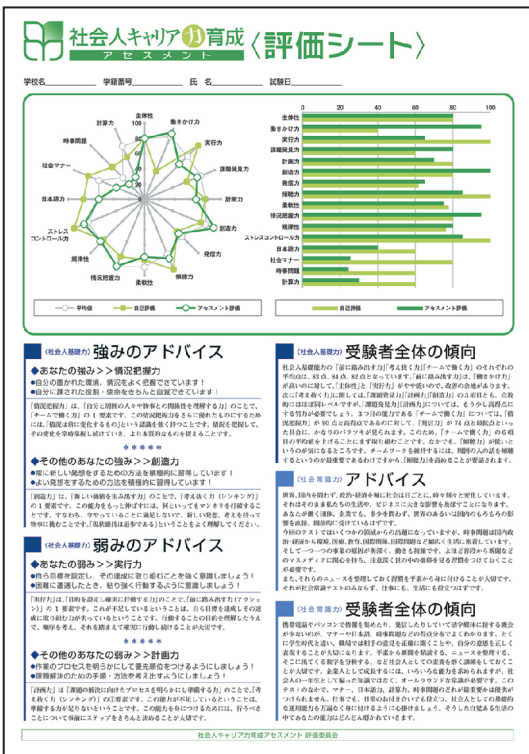
- ①自分の意思、考えを殺して集団行動をとる
- ②周囲の人たちとは一味違う集団行動をとる
- ③リーダーの指示に従って集団行動をとる
- ④周囲の人たちと同じ集団行動をとる

■社会常識力の問題例

◆日本語力

次の慣用句のうち正しいのはどれですか。

- ①公算が大きい
- ②最大もらさず
- ③口を濁す
- ④体調をこわす



実施した学生には、社会人基礎力12領域・社会常識力4領域の、計16軸のレーダーチャートがフィードバックされ、可視化できます。これにより、自分の得意な領域(強み)・伸ばしていく必要のある領域(弱み)が分かります。

■お問い合わせ・手続き取扱窓口

社会人キャリア^④育成アセスメント委員会

事務局 クロスピア 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋1-5-8 アクサンビル3F
TEL.03-5275-1521 FAX.03-5275-1560 E-mail:info@career-ikusei.com



特定非営利活動法人

日本インターンシップ推進協会
Japan Internship Promotion Consortium



インターンシップのワンストップ窓口として

インターンシップを通して社会情勢を的確に把握し現代社会で活躍できる学生を育てることは、近年の大学教育の中で最も注力すべき課題の一つとして認識されています。

そこで大学等が中心となり、産業界、行政機関および関係諸団体に働きかけ、**インターンシップを社会に定着させることを目指し、インターンシップが現在置かれている状況下での様々な課題に積極的に取り組むこと**を目的として、日本インターンシップ推進協会（JIPC）は発足しました。

インターンシップのワンストップ窓口として、より充実した“場”を提供できるよう、日々努力しています。



未来ある学生と企業をつなぐ、さまざまな活動

日本インターンシップ推進協会(JIPC)は、学生と企業をつなぐインターンシップ・データベースの構築に加え、**インターンシップガイダンス（講演）、ビジネスマナー講習**、学生と企業の直接的なコミュニケーションの場としての**マッチング会**など、インターンシップの導入支援活動を続けています。

国際インターンシップ、ホスピタリティ業界インターンシップなど**専門性の高い職業へのインターンシッププログラム**も積極的に実施し、年々規模を拡大しています。

また、インターンシップ等のキャリア教育の達成度を数値化し、学生の自己分析を促す『**社会人キャリア力育成アセスメント**』の開発に主管として携わり、高い成果を挙げています。